

科目名	必修/選択	単位数	学年	学科
発展数学Ⅱ	選択	2	3	普通科

科目の概要	<p>(1)基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、段階的な演習を通して、標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになることを目標として入試問題演習に取り組む。</p> <p>(2)4点を重点事項として、練習・実践問題に取り組み、実力を養成する。</p> <p>①問題の流れを確認し、見通しをもつ。</p> <p>②問題解決の方針や時間を意識し、問題を解く。</p> <p>③振り返りを行い、課題を発見する。</p> <p>④課題克服の方法を考え、次の問題への取り組みにつなげる。</p>
-------	---

教材名	教科書	改訂版 数学Ⅱ・数学B・数学C
	副教材	キートレーニング数学演習ⅠⅡABC受験編、攻略！共通テストPick Up128 数学ⅠA/ⅡBC

担当者	吉野友昭 塙守浩 倉俣達一郎 山本裕史 宮野昌彦
-----	--------------------------

学習到達目標	基本事項と基本的な考え方を把握し、演習を通して入試の標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになる。
--------	---

学習方法	問題集「キートレーニング」を用いて解説、演習を中心に授業を進めます。できるだけ予習をして、授業に望むことを期待します。学習内容を定着させるために、特に弱点分野については繰り返し取り組んで基礎演習を深めてください。さらに、問題集「共通テスト」「共通テスト対策直前演習」を用いて、見通しをもって問題を解ける力を養うための実践力、対応力を向上させてください。
------	--

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	定期考査と授業で知識・技能の定着を測る。	定期考査と授業で3つの能力を多面的に評価する。	定期考査と授業で、学習に対する意欲を評価する。
	A	発展的な問題を正しく解くことが出来る。	論理立てて、考えをまとめ、答案を作れる。	自ら、問題を解く姿勢がある。
	B	Get ReadyとTrainingの問題を正しく解ける。	方針を立てて、説明できる。	与えられた問題だけ解く。
	C	Get Readyの問題を解けない。	公式を活用できない。	問題を解こうとしない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	【キートレーニング数学】 第13章 微分法・積分法	33 導関数と接線 34 関数の値の変化 35 微分法の応用	1 2 2	
5		36 不定積分・定積分 37 面積(1) 38 面積(2)	2 1 1	平常講習
6	第8章 式と証明 第9章 複素数と方程式	22 二項定理、多項式の除法、分数式 23 恒等式、等式・不等式の証明 24 複素数とその計算、2次方程式の理論	2 1 2	前期中間考査 平常講習
7	第10章 図形と方程式	25 剰余の定理・高次方程式 26 点と直線 27 曲線と直線 28 軌跡と領域	2 2 2 2	
8	第11章 三角関数 第12章 指数関数・対数関数	29 三角関数(1) 30 三角関数(2) 31 指数関数・対数関数(1) 32 指数関数・対数関数(2)	1 2 2 2	
9	第14章 数列 第15章 統計的な推測	39 等差数列・等比数列 40 種々の数列 41 漸化式と数列 42 数学的帰納法、数列の応用 43 統計的な推測	1 2 2 1 2	平常講習 前期期末考査
10	第16章 ベクトル 【攻略！共通テスト】 第1章 方程式・式と証明 第2章 図形と方程式 第3章 三角関数	44 ベクトル 45 ベクトルと平面図形 46 ベクトルと空間図形 練習・実戦問題 練習・実戦問題 練習・実戦問題	2 1 2 1 2 1	平常講習
11	第4章 指数関数・対数関数 第5章 微分と積分 第6章 数列 第7章 統計的な推測 第8章 ベクトル	練習・実戦問題 練習・実戦問題 練習・実戦問題 練習・実戦問題	1 2 2 1 2	平常講習 後期期末考査
12	第9章 平面上の曲線と複素数平面 【共通テスト対策直前演習】	練習・実践問題 練習・実践問題 練習・実践問題	2 2 2	平常講習 平常講習 冬期講習
1				2次試験対策講習
2				